

今年は



年です



喜びの多い年になりますように

写真は、おとしの黒川地区・春日神社の王祇祭で演じられた能『嵐山』の問狂言『猿賀』の一場面です。大和(奈良)の吉野山に住む猿が、姫猿や家来猿を伴って、京(京都)の嵐山のしゅうと猿の所へ、新婚の挨拶に出掛けるというあらすじです。しゅうと猿との対面を果たした一行は、酒を振る舞われたり舞を披露したり。結婚を祝うにぎやかなうたげが始まります。登場する役者全員が猿の面を着け、会話は全て「キャツキャツキャツ」という猿の言葉。約30分の劇中劇が、華やかに展開されます。

さて、二〇二六年は「申(さる)」年です。日本に生息するのは、顔と尻の赤い「ニホンザル」。人間と同じ霊長類に属し、北は青森県下北半島から南は鹿児島県屋久島まで分布しています。日本人にとってなじみの深い動物で、『さるかに合戦』や『桃太郎』など、様々な昔話に登場します。信仰の対象にもなっていて、猿を神の使いと見る神社もあり、猿にちなんだ像や彫刻、縁起物等もあります。よく知られているのが、目と耳、そ

して口を両手で押さえた三匹の猿、「三猿」。猿に「さる」をかけた、人の非を「見ざる(見ない)・聞かざる(聞かない)・言わざる(言わない)」という意味があります。栃木県の日光東照宮の彫刻が有名ですが、全国各地に三猿の像や彫刻があります。語呂合わせになっ

ているため、日本独自のものであるように思われがちですが、アメリカやヨーロッパなど世界各地にも、同じような言葉や像があるようです。

近年は、野生鳥獣の中でも、人畜や農作物に被害を及ぼす有害鳥獣の一種として扱われることも多い猿。猿等の有害鳥獣による被害が増加している一因には、農山村の過疎化の進行に伴い、昔ほど里山に人の手が入らなくなつたため、人間と野生鳥獣との距離が近くなつたことが挙げられます。安全で安心な暮らしを守るためにも、豊かな自然を維持しながら、全ての生物との共生の道を探っていきたいものです。

今年が、皆さんにとって苦しみや災いが「去る」、喜びの多い一年であることをお祈りします。

編集・発行／鶴岡市総務部総務課

| | | |
|-----------------|---|---|
| 鶴岡市役所 本所 | 〒997-8601 | 山形県鶴岡市馬場町9-25 ☎0235-25-2111 FAX0235-24-9071 tsuruoka@city.tsuruoka.lg.jp http://www.city.tsuruoka.lg.jp https://www.facebook.com/tsuruokacity |
| | (メールアドレス) (ホームページ) (フェイスブックページ) (窓口受付時間) | 月曜～金曜日(祝日・年末年始除く) 午前8時30分～午後5時15分 |
| 藤島庁舎 | 〒999-7696 | 市内藤島字笹花25 ☎64-2111 |
| 羽黒庁舎 | 〒997-0192 | 市内羽黒町荒川字前田元89 ☎62-2111 |
| 櫛引庁舎 | 〒997-0346 | 市内上山添字文栄100 ☎57-2111 |
| 朝日庁舎 | 〒997-0492 | 市内下名川字落合1 ☎53-2111 |
| 温海庁舎 | 〒999-7205 | 市内温海戊577-1 ☎43-2111 |

→メールはこちらから



→ホームページはこちらから



《人口と世帯》(平成27年11月30日現在)
 住民基本台帳人口合計：131,852人
 (男：62,840人、女：69,012人)
 世帯数：48,568世帯

